

鉄道ピクトリアル

2011年4月号 Vol.61 No.4 通巻No.846

<特集> 485・489系電車

■表紙 国鉄特急色5連の485系特急「にちりん」……………神田 竜司
杵築一大神 2010-12-31

■グラフ

Last spurt 485 (1~7ページ)

河原慶明・尾崎 渉・赤座安彦・杉本孝之・大林一虎
金子 聡・藪下茂樹・桑村和宏・戸塚光弘・白土洋次
……………
佐藤利生・吉本 智・与野正樹・神田竜司・藤木正成
森 友紀・緒環一暁

JR東日本 改造485系のバラエティ (8ページ)

……………金子 聡・太田正行・末石和寛・井上英樹
国鉄交直流特急形が輝いていた頃 (92~93ページ)

……………辻阪昭浩・三ッ谷政久・小林 武・浜村正弘・太田正行
*

特急「雷鳥」の46年 ……………写真:伊藤 昭ほか… 26

JR九州日豊本線の485系電車 ……………写真:森 友紀ほか… 32

485系改造車 興味深い車両のいろいろ ……………構成:佐藤利生… 34

485系ボンネット車 愛称表示板の構造 ……………佐藤 邦弘… 40

*

Pictorial Color Gallery 奥津軽の郷愁列車 ……………大野 義久… 89

[JR東日本「日光」「きぬがわ」用253系1000番代/JR東日本
C61 20の火入れ式を挙行/小田急電鉄5000形10両編成さ] 94~97
よなら運転/樽見鉄道ハイモ330-701登場ほか

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 98

さようならクハ481-801……………佐々木晶朗…106

台湾の日本製蒸気機関車 2011年以降次々に復活 ……白川 淳…110

終焉近い大阪のDL貨物 ……………山中 茂…112

■本文

今月の話題:485・489系電車……………編集部… 9

485系・489系電車のプロフィール……………編集部… 10

485系史上の大変革 1985年3月改正に伴う全国転配 ……小樽 宏明… 41

百花繚乱 485系改造車コレクション ……………佐藤 利生… 54

日本海縦貫線 485系電車特急のあゆみ〔国鉄編〕 ……寺本 光照… 69

クハ481・クハ489ボンネット車の肖像……………佐藤 博… 76

1983年9月、特急「鳥海」乗車記 ……………山田 亮… 85

*

鉄道の話 ……………編集部… 88

「小田急5000形10両さよなら運行列車」に乗って ……稲葉 克彦…113

JR東日本E5系量産車…JR東日本運輸車両部車両技術センター…118

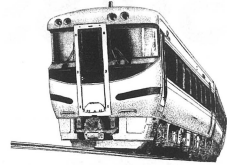
1月のメモ帳 ……………126

読者短信・情報ファイル ……………127

後部車から ……………131

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

485・489系電車

1987(昭和62)年4月1日、国鉄改革によりJR各社が発足した。それからまもなく24年、JR各社では新技術を駆使して独自に開発した車両が主力として活躍している。その一方で、JR各社の発足に際し、国鉄から継承された車両たちは、経年による老朽化も進み、車種を問わず現在は淘汰が進みつつある。1960年代後半から70年代、80年代と各地で親しまれた車両たちは、今や昭和の車両、国鉄形などとも称されるようになって、その多くが晩年期を迎えている。かつて北海道から九州まで、在来幹線の特急として活躍した485・489系交直流電車も、そうした国鉄形の電車である。

485・489系電車は1964(昭和39)年に北陸本線の特急「雷鳥」でデビューした60Hz対応の481系の改良系列であり、東北本線特急「ひばり」の50Hz用483系の後を受けて、50Hz・60Hz両用の交直流特急形として1968(昭和43)年から投入が開始された。「こだま」形151系の流れを汲むボンネット型の特急車は貫禄に満ちて、都市間を結ぶ特急の増発とともに相次いで各地に配置されていった。

その後は、横軽対応の489系も加わり、さらに前面形状の変化などを経て、485・489系は1979(昭和54)年まで増備が続けられた。481・483系を加えた製造両数は1,453両に及び、国鉄特急形車両としては最大規模を誇る系列となった。増備期間が長く、また両数も多く、車両の形態変化はバラエティーに富んでおり、興味は尽きない系列であるが、現在、リニューアル改造車などを除くオリジナルスタイルの車両は、いよいよ残りわずかとなりつつある状況となっている。かつて在来線特急網の主役を担った485・489系の最後の活躍を見守りたいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan